

日 時：2014年11月13日（木）18:00-20:00

場 所：建築会館 202 会議室

出席者：委員長：岡田知子

委 員：浅井秀子、熊野稔、北澤大佑、後藤隆太郎、重村力、不破正仁、
三笠友洋、柳田良造、山崎義人（敬称略）、栗原伸治（議事録作成）

I. 確認事項

- ・前回本委員会（9月12日）議事録を確認した。
- ・2015年日本建築学会教育賞（教育業績）候補の丸山欣也氏の推薦については、同氏が学会員でない（資格がない）ため断念した。

II. 報告事項

1. 小委員会活動成果報告書の提出依頼

- ・提出〆切：2015年2月13日（厳守）

2. 2014年度大会（近畿）関係

(1) 概要報告

- ・農村計画委員会主催の研究集会は、研究協議会、PDともに盛況であった。
- ・農村計画分野の学術講演会の欠席者は9名（講演番号をHPに掲載する）。
- ・農村計画分野の学会費未納者は2名。

(2) AIJ デジタルライブラリー：2014年度大会研究集会資料無償公開アンケート結果

- ・農村計画委員会主催の研究集会資料は、ともに「3ヶ月後」から公開することとする。

III. 審議事項

1. 2015年度大会関係

(1) 研究集会

- ・開催の時間帯については、今回から第1希望、第2希望を書かなければならない。
農山漁村地域組織小委員会主催のPD：
第1希望；初日の午後、第2希望；2日目の午前
集落復興小委員会主催の研究協議会：
第1希望；2日目の午後、第2希望；2日目の午前
- ・研究協議会については、後藤隆太郎委員から案を出してもらい、メール審議のうえ、11月末日までに企画書を提出する。
- ・PDでは、全国の農山漁村の先進事例の動向と評価に関する資料集を作成する。
（前半；主題解説、後半；事例集 という構成）
- ・PDでの以下の担当は決定している。
司会；斎尾直子委員、副司会；篠部裕委員、記録；下田元毅先生、
主旨説明；熊野稔委員、主題解説；ひとりは鈴木孝男委員が担当

- ・ PD の他の担当者については、以下のとおり。
 主題解説の他の候補者として、小田切徳美先生（明治大学）と交渉中。
 田口太郎先生、藻谷浩介先生を主題解説、コメンテータの候補者とする。
 神奈川で開催される大会なので、神奈川県を担当者にも登壇してもらったほうがよい。
 →神奈川県庁の担当者に相談する。
- ・ PD のタイトルは再考する。
 (2) オーガナイズドセッション
- ・ 集落居住小委員会が担当する。
- ・ 山崎義人委員が 11 月 28 日までにセッション名と 200 字程度の主旨を提出する。

2. 推薦依頼関係

- (1) 2015 年学会賞選考委員会委員（論文部会）候補
 - ・ 重村力委員が退任することになる。
 - ・ 柳田良造委員を推薦する。
- (2) 2015 年日本建築学会奨励賞選考委員会委員候補
 - ・ 佐藤栄治委員が退任することになる。
 - ・ 候補者は、次回の本委員会で決定する。
 （そのまえに候補者がいれば、ML 上であげておく）
- (3) 災害委員会委員
 - ・ 佐藤栄治委員が退任することになる。
 - ・ 浅井秀子委員を推薦する。

3. 『東日本大震災合同調査報告』進捗状況について

- ・ 4 章構成で 3,4 章については原稿提出済み。
- ・ 2015 年 5 月に刊行予定。

4. 本委員会関係

- (1) 2014 年度大会学術講演会農村計画委員会若手優秀発表について
 - ・ エントリーされた 18 名のなかから「1 割程度を選出」（規約）することとし、以下の 2 名を選出することとした。
 坂本晃啓氏（講演番号 6012）、三宅貴之氏（講演番号 6048）
- (2) 小委員会活動報告・計画
- 集落復興小委員会
 - ・ 今年度、春季学術研究会を主催した。
 - ・ 来年度、「集住の知恵 災害文化編」の公開、研究協議会の主催等を予定している。
 - ・ 委員を 2 名増やして、定員どおりの 15 名にしたい。
- 農山漁村地域組織小委員会
 - ・ 7 月、9 月に委員会開催し、来年度 PD の計画をたて、資料集の構成を決定した。
 - ・ 原稿募集は早めにおこなう（本委員会 HP にも掲載する）
 - ・ 将来的には、刊行物として出版したい。

○農山漁村文化景観小委員会

- ・今年度、PD を主催した。PD は盛況で資料集も完売した。
- ・来年度も、文化的景観をキーワードに国際的に議論できる場を提供していきたい。
- ・「フィールドスクール」を積極的に開催したい。

○農村環境共生小委員会

- ・今年度、空間デザイン論に落とし込むスキームについて議論している。
- ・また、委員のフィールドにおける事例を収集している。
- ・来年度、県境域等の行政区域の境界などにおける鳥獣被害駆除対策を掘り起こしていきたい。

○集落居住小委員会

- ・大会の研究協議会を主催し、公開研究会を2回開催した（うち1回は開催予定）。
- ・来年度は、公開研究会のうちの1回を春季学術研究会にあてて実施する予定。
(2015年7月11～12日 於 新潟県十日町市池谷集落)
- ・2回目の公開研究会は、東北地方で冬に実施したいと考えている。

○農村・国土計画委員会

- ・7月に委員会開催し、9月に長野県と三重県で現地調査をおこなった。
- ・現地調査の成果をどう計画論に結びつけるかが課題になっている。
- ・伝統的な防災装置かつ地域環境の核になるものを再発見し、言葉で整理していきたい。

(3) 委員の委嘱

・農山漁村文化景観小委員会

天満類子先生（広島工業大学環境学部環境デザイン学科）を委員として追加する。

5. その他

・学会大賞の推薦について

候補者の推薦については、委員長と幹事に一任する。

・日韓交流の日程について

開催候補日をお盆すぎ、あるいは2月後半として韓国側へ打診する。